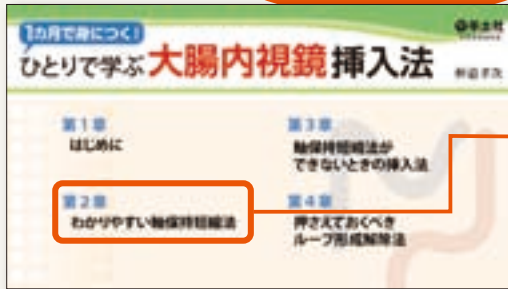


DVDのメニューと内容

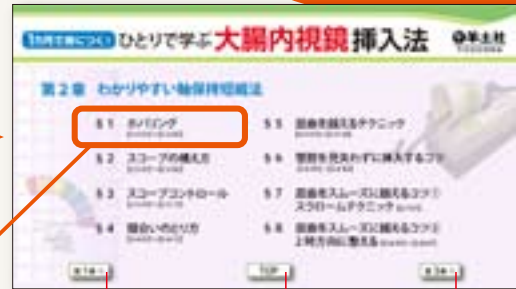
①TOP画面

みたい章をクリック!

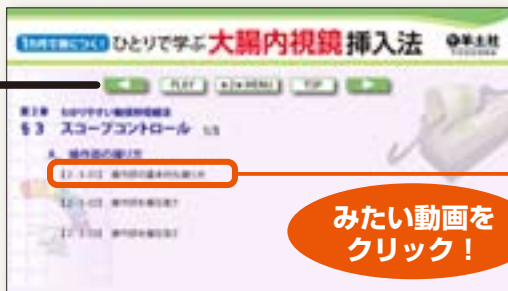


②各章MENU画面

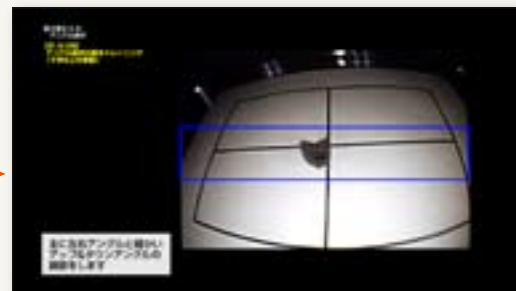
みたいセクションをクリック!



③セクション別動画一覧画面



④再生画面



みたい動画を
クリック!



前の動画一覧ページへ

各章MENU画面へ

次の動画一覧ページへ

各セクションの全動画を再生

TOP画面へ

● 収録内容

第1章◆はじめに

§ 2 最もシンプルなパターンの挿入法

[1-2-01] 軸保持短縮法によるTCS ————— 28

B. スコープ画面のイメージ

第2章◆わかりやすい軸保持短縮法

§ 1 ホバリング

A. ホバリングとは

[2-1-01] ホバリングなしで右ターン ————— 30

[2-1-02] ホバリングありで右ターン ————— 30

B. ホバリング操作の実際

[2-1-03] ホバリングの全体イメージ ————— 33

[2-1-04] アンクルなしでのターン操作のトレーニング — 37

[2-1-05] アンクルをかけたターン操作のトレーニング — 39

§ 2 スコープの構え方

A. 構えのポイント

[2-2-01] 右手の持ち方 (高さ)と位置 ————— 41

[2-2-02] 720°右ターンするトレーニング ————— 45

§ 3 スコープコントロール

A. 操作部の握り方

- [2-3-01] 操作部の基本的な握り方 47
- [2-3-02] 操作部を握る強さ 47
- [2-3-03] 操作部を握る深さ 48

B. アングル操作

- [2-3-04] 左手親指1本での操作 49
- [2-3-05] 左手親指と中指で操作 50
- [2-3-06] アングル操作の基本トレーニング（十字の上を移動） 52
- [2-3-07] アングル操作の基本トレーニング（長方形の外周を移動） 54
- [2-3-08] アングル操作の基本トレーニング（手元の操作） 54

C. ターン操作

- [2-3-09] ① -60°~60°の右ターン 57
- ② (-60°~0°) × 2回の右ターン
- [2-3-10] -120°~0°の右ターンのトレーニング 60
- [2-3-11] (-60°~0°) × 2回の右ターンのトレーニング 60
- [2-3-12] アングル操作とターン操作を組み合わせたトレーニング（半円の上を移動） 62
- [2-3-13] アングル操作とターン操作を組み合わせたトレーニング（長方形と十字の上を移動） 62

§ 4 間合いのとり方

A. 腸管の粘膜に対する間合い

- [2-4-01] 透明フードを装着して挿入 65
- [2-4-02] 透明フードを装着して挿入（スコープ画面） 65
- [2-4-03] ターン操作とアップアングルで直線上を移動 69
- [2-4-04] ターン操作とアップアングルで直線上を移動（スコープ画面） 69
- [2-4-05] ターン操作とアップアングルでV字上を移動 72
- [2-4-06] ターン操作とアップアングルで膿盆の凸面を移動 74
- [2-4-07] ターン操作とアップアングルで膿盆の凹面を移動 74
- [2-4-08] ターン操作とアップアングルで膿盆の凹面を移動（スコープ画面） 74
- [2-4-09] 実際のTCSでのイメージ 74

B. 屈曲を利用した挿入での間合い

- [2-4-10] 屈曲に対する間合いのとり方（紙の筒を使って） 77
- [2-4-11] 屈曲に対する間合いのとり方（アップアングル） 78
- [2-4-12] 屈曲を利用した挿入のトレーニング（ヘアゴムを使って） 80
- [2-4-13] 右手と左手を使ってイメージトレーニング（スコープの押し引き） 83
- [2-4-14] 右手と左手を使ってイメージトレーニング（協調運動） 83
- [2-4-15] 右手と左手を使ってイメージトレーニング（屈曲を越える） 83

§ 5 屈曲を越えるテクニック

A. アップアングルを使って12時方向の屈曲へ挿入

- [2-5-01] アップアングルで挿入するトレーニング（動かない棒を使って） 87

B. フッキングザホルド

- [2-5-02] フッキングザホルドの解説（マウスピースを使って） 90

- [2-5-03] フッキングザホルドの解説（マウスピースを使って・スコープ画面） 90

- [2-5-04] フッキングザホルドの解説（透明フードを装着） 90

- [2-5-05] 間合いのトレーニング 92

- [2-5-06] 間合いのトレーニング（スコープ画面） 92

- [2-5-07] 基本動作のトレーニング 95

- [2-5-08] 基本動作のトレーニング（スコープ画面） 95

C. 左ターンでの挿入

- [2-5-09] スコープを引きながら左ターンする 99

- [2-5-10] スコープを引きながら左ターンする（スコープ画面） 99

- [2-5-11] 左ターンで挿入するトレーニング（簡単な腸管） 101

- [2-5-12] 左ターンで挿入するトレーニング（簡単な腸管・スコープ画面） 101

- [2-5-13] 左ターンで挿入するトレーニング（挿入がやや困難な腸管） 103

- [2-5-14] 左ターンで挿入するトレーニング（挿入がやや困難な腸管・スコープ画面） 103

- [2-5-15] 左ターンで挿入するトレーニング（挿入がかなり困難な腸管） 105

- [2-5-16] 左ターンで挿入するトレーニング（挿入がかなり困難な腸管・スコープ画面） 105

§ 6 管腔を見失わずに挿入するコツ

A. 3つの粘膜との間合い

- [2-6-01] 管腔を見失わずに挿入するトレーニング（トライアングルを使って） 112

- [2-6-02] 上部消化管内視鏡検査への応用 112

§ 7 屈曲をスムーズに越えるコツ① スラロームテクニック

A. スラロームテクニック

- [2-7-01] スラロームテクニックのトレーニング（スキー板のイラストを使って） 119

§ 8 屈曲をスムーズに越えるコツ② 2時方向に整える

A. 座標平面を利用して

- [2-8-01] 2時の屈曲を第1象限に整えるトレーニング 125

- [2-8-02] 2時の屈曲を第1象限に整えるトレーニング（スコープ画面） 125

B. 座標平面とホバリングの融合テクニック

- [2-8-03] さまざまな屈曲を第1象限の2時に整えるトレーニング 129

- [2-8-04] 術者の視点を変えるトレーニング（通常のスコープ画面） 131

- [2-8-05] 術者の視点を変えるトレーニング（2枚の白い紙を使って） 131

C. 最小のライトターンショートニング

- [2-8-06] 画面中央の上方にある2時の屈曲を越えるトレーニング 135

- [2-8-07] 画面中央の上方にある2時の屈曲を越えるトレーニング（スコープ画面） 135

第3章 ◆ 軸保持短縮法ができないときの挿入法

§ 1 困難例に対する効率的なアプローチ

A. 軸保持短縮法で挿入できない理由

[3-1-01] 軸保持短縮法ができにくい症例のパターン化 — 150

B. 土管がみえたときの対処法

[3-1-02] スコープを進めながらホバリング — 152

[3-1-03] その場でホバリング — 152

§ 2 体位変換

A. 長い腸管での体位変換

[3-2-01] 右側臥位を使った挿入 — 156

§ 3 ループ解除のテクニック

A. ライトターンショートニング

[3-3-01] Nループ解除のトレーニング — 164

[3-3-02] αループ解除のトレーニング — 166

[3-3-03] γループ解除のトレーニング — 168

[3-3-04] スコープを約10cm引きながらホバリング — 171

§ 4 閉じた屈曲への挿入

A. 閉じた屈曲への挿入

[3-4-01] 閉じた屈曲のイメージ (虹のイラストを使って) — 176

[3-4-02] 閉じた屈曲のイメージ
(虹のイラストを使って・スコープ画面) — 176

[3-4-03] 閉じた屈曲の挿入 (虹のイラストを使って) — 176

[3-4-04] 閉じた屈曲の挿入
(虹のイラストを使って・スコープ画面) — 176

[3-4-05] 閉じた屈曲の挿入 (実際のTCS) — 176

§ 5 短縮できないS-topからSDJまでの挿入

A. S-topで10時半方向への挿入

[3-5-01] 10時半方向への挿入テクニック — 178

[3-5-02] 10時半方向への挿入テクニック (スコープ画面) — 178

B. S状結腸後半の挿入

[3-5-03] 右トルクで管腔の左上を挿入する — 180

[3-5-04] 10時半方向への挿入とホバリングのトレーニング — 182

[3-5-05] 10時半方向への挿入とホバリングのトレーニング
(スコープ画面) — 182

§ 6 2時方向以外の屈曲に挿入するテクニック

A. 4時半方向の屈曲への挿入法

[3-6-01] 4時半の屈曲を12時にもってくるトレーニング
(膿盆を使って) — 186

[3-6-02] 4時半の屈曲を12時にもってくるトレーニング
(膿盆を使って・別アングル) — 186

[3-6-03] 4時半の屈曲を12時にもってくるトレーニング
(膿盆を使って・スコープ画面) — 186

[3-6-04] 4時半の屈曲を12時にもってくるトレーニング
(紙コップを使って) — 189

B. 12時方向の屈曲への挿入法

[3-6-05] スライドパイザムコーザテクニック — 191

[3-6-06] 12時の屈曲に挿入するトレーニング — 193

§ 7 土管短縮後の挿入テクニック

A. 2時方向以外への挿入の組み立て

[3-7-01] 10時半と4時半の屈曲に挿入 (スコープ画面) — 195

[3-7-02] 10時半と4時半の屈曲に挿入 (スコープ操作部) — 195

[3-7-03] 1時半と7時半の屈曲に挿入 (スコープ画面) — 197

[3-7-04] 1時半と7時半の屈曲に挿入 (スコープ操作部) — 197

§ 8 屈曲の向きを自在に変えるテクニック

A. やじろべいのテクニック

[3-8-01] 屈曲の向きを変えるトレーニング — 202

[3-8-02] 屈曲の向きを変えるトレーニング (スコープ画面) 202

第4章 ◆ 押さえておくべきループ形成解除法

§ 1 RSを右ターンで挿入する

B. 肛門からRSまでの挿入

[4-1-01] RSを右ターンで挿入するトレーニング — 210

[4-1-02] RSを右ターンで挿入するトレーニング
(スコープ画面) — 210

C. RSの右ターンで意識する屈曲

[4-1-03] RLRで挿入するトレーニング (紙コップを使って) 215

[4-1-04] RLRで挿入するトレーニング (紙コップを使って・
スコープ画面) — 215

[4-1-05] LRで挿入するトレーニング (紙コップを使って) — 215

[4-1-06] LRで挿入するトレーニング (紙コップを使って・
スコープ画面) — 215

[4-1-07] LRで挿入するトレーニング (屈曲イラストを使って) 219

[4-1-08] LRで挿入するトレーニング (屈曲イラストを使って・
スコープ画面) — 219

[4-1-09] RLRで挿入するトレーニング
(屈曲イラストを使って) — 219

[4-1-10] RLRで挿入するトレーニング
(屈曲イラストを使って・スコープ画面) — 219

D. 水を利用して屈曲の向きを確認

[4-1-11] 半分浸水法での挿入 — 223

§ 2 S状結腸から脾彎曲までの挿入

A. 軽い右ターンで挿入する

[4-2-01] ループ形成解除法によるTCS — 226